北海道地方

名前

問1　北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な用水路が建設された。
2. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
3. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
4. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。

問2　日本の農作物の生産統計において、北海道が全国の生産量の約8割を占め、主に砂糖の原料として利用される寒冷地向けの作物は何ですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. てんさい
2. 茶
3. りんご
4. さとうきび

問3　北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。（2019年 岡山県公立入試 類似）

1. 色丹島
2. 国後島
3. 択捉島
4. 歯舞群島

問4　日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。（2024年 徳島県公立入試 類似）

1. ツンドラ気候
2. 亜寒帯（冷帯）
3. 温暖湿潤気候
4. 西岸海洋性気候

問5　1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。
2. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。
3. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。
4. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。

問6　北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。
2. 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
3. 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。
4. 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。

問7　北海道の北端に位置し、中心部に利尻山という火山をもつ人口約5000人の島々では、その豊かな自然景観が国立公園に指定されています。この地域の自然環境を活かした観光業とともに、古くから地域経済を支えてきた、高級ブランドとしても名高い特徴的な産業はどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業
2. 冷涼な夏の気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培
3. かつての金山跡を中心とした歴史的遺産による観光開発
4. 温暖な気候を利用したサトウキビの生産と加工

問8　別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから
2. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから
3. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから
4. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから

問9　北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. ウィルタ民族
2. アイヌ民族
3. 琉球民族
4. 大和民族

問10　日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
2. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
3. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
4. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。

問11　日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
2. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
3. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。
4. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。

問12　日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 冷帯（亜寒帯）
2. 乾燥帯
3. 温帯
4. 熱帯

問13　北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 西側に石狩平野、東側に根釧台地
2. 西側に根釧台地、東側に十勝平野
3. 西側に十勝平野、東側に石狩平野
4. 西側に石狩平野、東側に十勝平野

問14　北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与えることがあります。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
3. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。
4. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問2	答え 1 てんさい	北海道では、その広大な土地と涼しい気候を活かした大規模な農業が行われています。「てんさい（ビート）」は寒さに強い作物で、日本の生産量のほとんどが北海道で占められており、収穫後は製糖工場で砂糖に加工されます。同じ砂糖の原料である「さとうきび」は、沖縄県や鹿児島県の南西諸島など、暖かい地域で栽培される作物であるため、産地の違いを区別することが重要です。
問3	答え 2 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問4	答え 2 亜寒帯（冷帯）	日本の大部分は温暖な温帯に属していますが、緯度が高い北海道地方は、世界的な気候区分において亜寒帯（冷帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒冷な気候に耐えるための針葉樹林が広がっていることや、本州で見られるような梅雨や台風の影響を比較的受けにくいといった特徴があります。
問5	答え 2 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。	かつての北海道を支えた炭鉱などのエネルギー産業が衰退したことで、それらの地域から人口が流出し、代わって第3次産業（サービス業や小売業）が成長した札幌市に人口が吸収されました。このように、特定の都市に人口や経済機能が突出して集まる現象は、地方における一極集中の典型的な事例として挙げられます。札幌市の人口規模は1950年代の数倍に達しており、北海道の総人口の約3割から4割近くを占めるに至っています。
問6	答え 1 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。	北海道では、広い土地を活用して機械化された大規模農業が行われています。特に小麦の収穫量は全国トップクラスであり、酪農や畜産業も盛んです。
問7	答え 1 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業	利尻島や礼文島は、美しい火山（利尻山）を中心とする景観から利尻礼文サロベツ国立公園に指定されています。この地域では、冷たい海流に育まれた良質な昆布が「利尻昆布」として全国的なブランドとなっており、漁業や養殖業が島にとって欠かせない基幹産業です。近年は、この伝統ある産業を維持するために、若手漁師の育成などの後継者支援も積極的に行われています。
問8	答え 1 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから	北海道東部の太平洋側は、夏に寒流である親潮（千島海流）の影響を受けて濃霧（海霧）が発生しやすく、日照時間が不足しがちで気温も低くなります。この気候条件は稲作や畑作には不向きですが、牧草の生育には適しているため、広い土地を生かした酪農が定着しました。
問9	答え 2 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サッ・ポロ・ペツ』に由来しています。
問10	答え 2 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問11	答え 1 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。	北海道は明治時代以降の開拓の歴史や、広大で平坦な土地という地理的条件を背景に、機械を用いた「大規模経営」が発達しました。気候面では、特に東部や北部を中心に冷涼な地域が多く、稲作よりも広大な草地を利用した酪農などの「畜産」に適しています。その結果、農業産出額においても畜産が51.7%と過半数を占め、米や野菜が中心となる日本全体の農業構造とは異なる独自の特色を持っています。
問12	答え 1 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度を超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問13	答え 4 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。
問14	答え 2 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴に変わることで濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。